



ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

フリーコール 0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前 9:00~午後 5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



F 016 L81 774 (2018.03)

コードレス洗淨機 FONTUS (フォントス)



取扱説明書

このたびは、弊社コードレス洗淨機をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になります前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
コードレス工具全般についての注意事項	2
コードレス洗淨機についての注意事項	9
充電器についての注意事項	16
●リサイクルのために	
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	18
●本製品について	
用途	19
各部の名称	20
仕様	21
標準付属品	22
●使い方	
バッテリーを準備する	23
作業前の準備をする	29
作業する	36
●お手入れと保管	
フィルターの清掃	42
運搬	44
収納	45
長期間使用しないとき、または冬季の保管	46
●困ったときは	
故障かな？と思ったら	49
修理を依頼するときは	51

ご安全上
の注意

のリサイク
ルのため

本製品に
ついて

使い方




お手入れ
と保管

困った
ときは

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 、、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたコードレス洗浄機には、当てはまらない項目も含まれています。

⚠ 危険

ご安全上の注意

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

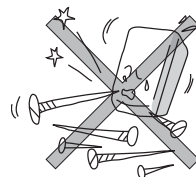


3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。



警告

1. 正しく充電してください。

- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ コードレス工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはめれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

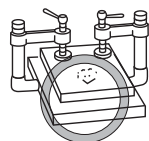
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。



7. 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

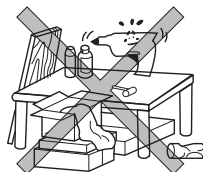
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。



注 意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人は、使用しないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ コードレス工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の内車など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ◆ 小型のコードレス工具やアタッチメントは、大型のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

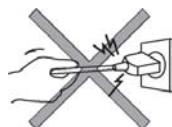


7. コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

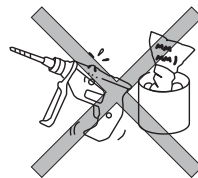
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ コードレス工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。



14. コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はコードレス工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

コードレス洗浄機についての注意事項

コードレス工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、コードレス洗浄機をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全
注上
意の



警告

1. 作業の条件・内容を考慮して、目的に合った用具を用意し、アクセサリーを選定してください。
 - ◆ 目的に合っていない用具の使用は、事故やけがの原因になります。
2. バッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、コードレス洗浄機本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
3. 取扱説明書に記載されている用途以外、または能力以上の作業には、絶対に使用しないでください。
 - ◆ 使用すると、発煙・発火の原因になります。
4. この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリー以外は使用しないでください。
 - ◆ 指定外のアクセサリーを装着すると、コードレス洗浄機本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
5. 水流で物の破片が飛んだときなどにけがをしないよう、作業に適した服装で作業してください。また、目を保護するため保護めがねなどを着用してください。
 - ◆ 適した服装で作業しないと、けがの原因になります。
6. 子供や補助を必要とする人、及び操作の知識がない人には、使用させないでください。
 - ◆ 使用させると、けがや事故の原因になります。

7. 子供が本機で遊ばないように監督してください。

- ◆ 遊ぶとけがや事故の原因になります。

8. 噴射口を人や動物の顔、電気機器及び本機自体に向けて使用しないでください。

- ◆ 圧力のかかった水が人や動物の顔に当たるとけがの原因になります。
- ◆ ノズルからは圧力のかかった水が噴射するため、電気機器やコードレス洗浄機本体に水が当たると、破損の原因になります。
- ◆ 電気機器やコードレス洗浄機本体に水が入ると、感電の恐れがあります。

9. 使用する前に、近くに機械などが無いことを必ず確認してください。

- ◆ 機械に水が直接当たったり、飛散した水がかかると、感電や破損の原因になります。

10. 人体に有害な成分（アスベストなど）を含む物に向けて噴射しないでください。

- ◆ アスベストは発がん性があります。

11. 有機溶剤（アセトン、ガソリン、シンナー、灯油など）や有機溶剤を含む液体は使用しないでください。

- ◆ 有機溶剤は可燃性が高く、出火や爆発の原因になります。
- ◆ 有機溶剤は人体に有害です。

12. 可燃性液体や、希釈していない酸、酸性・アルカリ性洗剤、農薬、消毒液などの不適當な液体は使用しないでください。

- ◆ 故障や事故の原因になります。

13. 使用に問題がないことを確認してください。

取り付けは間違いないか、可動部分が正しくしっかりとセットされているか、各部品の損傷がないか、その他問題がないかチェックしてください。損傷などがあつた場合は使用せず、修理をご依頼ください。

- ◆ 多くの事故は、点検作業を怠ったときに起きています。
- ◆ 損傷したまま使用すると、故障や思わぬ事故の原因になります。

14. 内蔵式水タンクを満タンにするために、コードレス洗浄機本体を水につけないでください。
 - ◆ 本体が濡れると感電や故障の原因になります。
15. コードレス洗浄機本体が破損しているときは、絶対に使用しないでください。
 - ◆ 使用すると、事故の原因になります。
16. コードレス洗浄機本体を改造しないでください。
 - ◆ 改造すると、コードレス洗浄機の安全を損なう恐れがあります。
 - ◆ 改造すると、騒音や振動が増え、性能が低下する恐れがあります。
17. 「電源ボタン」を押さないように注意しながら、バッテリーを取り付けたり取り外したりしてください。
 - ◆ 不意に作動すると、けがの原因になります。
18. スプレーガンのトリガが引き込まれていないことを確認してから、電源を入れてください。
 - ◆ トリガが引き込まれた状態で電源を入れると、思わぬ事故の原因になります。
19. コードレス洗浄機本体やバッテリー、バッテリー挿入口に水をかけないでください。
 - ◆ 濡れると感電の恐れがあります。
20. コードレス洗浄機を雨中で使用しないでください。
 - ◆ コードレス洗浄機本体が濡れると、感電や故障の原因になります。
21. バッテリー収納カバーが閉じていることを確認してから、使用してください。
 - ◆ バッテリー収納カバーが開いた状態で使用すると、飛散した水がバッテリーにかかり、感電などの恐れがあります。

22. 足元をしっかりさせ、安定した体勢でしっかりとスプレーガンを握って作業を始めてください。
はしごの上で使用しないでください。

◆ 噴射開始の瞬間に反動があります。無理な姿勢で作業を始めると、けがや事故の原因になります。

23. 使用中に振り回されないよう、スプレーガンを確実に保持してください。

◆ 確実に保持しないと、けがや事故の原因になります。

24. バルコニーや高い場所で使用するときは、落下しないように、安全を確保してください。

25. 対象物に適した距離で使用してください。また、対象物に損傷が生じる恐れがある場合は目立たない場所で試してから使用してください。

噴射口からの距離を離して洗浄し、様子を見ながら近づけて洗浄するなど慎重に使用してください。

◆ 近づけすぎた場合、破損などの原因になります。

26. 車の足まわりや機械類などを洗浄するときは、グリース塗布部分やカバー部分などに直接噴射しないでください。

◆ グリースなどが流れ落ちたり、損傷や重大事故の原因となる恐れがあります。

27. 下記のときは、必ず電源を切ってください。また、電源を切った後、スプレーガンのトリガを握り、ポンプ内の圧力を抜いてください。

- ・ 作業を中断するとき
- ・ 点検するとき
- ・ 付属品を交換するとき
- ・ 作業を終了するとき

◆ 圧力が残っていると、不意の作動でスプレーガンから残水が噴射され、けがの原因になります。

◆ 電源を切らないと、ポンプからの水漏れや圧力スイッチの故障による誤作動の原因になります。

28. ホースを傷つけたり、折ったりしないでください。使用する前に、ホースはまっすぐに伸ばしてください。
- ◆ 使用中に折れているホースを無理に引っ張ると折れ曲がり、ホースが破損する恐れがあります。
29. 摩擦の強い床面や、砂利・石畳などの凹凸がある床面でホースを引きずらないでください。
- ◆ ホースの傷や破損の原因になります。
30. ホースに傷や変形などがある場合は、使用しないでください。
- ◆ 事故の原因になります。
31. 使用中、コードレス洗浄機本体の調子が悪かったり、異常音が出たときは直ちに電源を切って使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
32. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、コードレス洗浄機本体が冷めるための時間を設けてください。
- ◆ 複数個による連続作業は、コードレス洗浄機本体に支障をきたす恐れがあります。
33. バッテリーを乱暴に扱おうと液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
- ◆ バッテリーから漏れた液は炎症や火傷をもたらす恐れがあります。
34. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。
- ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。

35. 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、調整・付属品の交換・保管をするときは、必ずコードレス洗浄機本体からバッテリーを取り外してください。

◆ バッテリーを取り付けたままにすると、けがの原因になります。

36. バッテリーを開けないでください。

◆ 短絡の恐れがあります。

37. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所や水気・湿気のある場所の近くに置かないでください。

◆ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。

38. バッテリーは、釘やドライバーなど、尖ったものや外からの強い力で傷つく場合があります。

◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。

39. 使用しないときは、子供などの手の届かない安全な場所に保管してください。

◆ 操作に関する教育を受けていない人の使用は大変危険です。

40. コードレス洗浄機から出る水を飲まないでください。

◆ 飲むと健康を害す恐れがあります。



注 意

1. 電源を入れたまま、放置しないでください。
 - ◆ けがや事故の原因になります。
2. 内蔵式水タンクには、新鮮な水（生理食塩水でない）以外を給水しないでください。
 - ◆ 新鮮な水以外を給水すると、壊れる恐れがあります。
3. フィルターを取り外した状態、またはフィルターが損傷している状態で、内蔵式水タンクに給水しないでください。
 - ◆ 内蔵式水タンクの中にゴミなどが入ると、故障の原因になります。
4. コードレス洗浄機は水平で安定した場所に設置してください。また、必ず地面に置き、高い所に置かないでください。
 - ◆ 不安定な所や高い所に置くとモーターの振動で本体が倒れたり、落下したりする恐れがあります。
5. 洗浄物に貼られているラベル類周辺への直射は避けてください。
 - ◆ 高力のかかった水によりラベルが剥がれる恐れがあります。

充電器についての注意事項

ここでは、充電器をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警 告

1. 電源プラグに合った電源コンセントを使用してください。
電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。
 - ◆ 純正電源プラグに適合した電源コンセントを使用しないと、感電の恐れがあります。
2. 使用する前に必ず充電器本体、電源ケーブル、電源プラグに損傷などがないか確認してください。
損傷などがあった場合は、充電器を使用せず、修理をご依頼ください。
 - ◆ そのまま使用すると、感電する恐れがあります。
 - ◆ 充電器を自分で開けたり修理したすると、故障や思わぬ事故の原因になります。
3. 子供や補助を必要とする人、及び操作の知識がない人には、充電器を使用させないでください。
 - ◆ 使用させると、けがや事故の原因になります。
4. 子供が充電器で遊ばないように、監督してください。
 - ◆ 遊ぶとけがや事故の原因になります。
5. 電源コードは乱暴に扱わないでください。
 - ◆ コードが損傷したりもつれたりしていると、感電の恐れがあります。
6. 充電器を雨ざらしにしたり、湿気の多い場所に置いたりしないでください。
 - ◆ 充電器に水が浸入すると、感電の恐れがあります。

7. やむを得ず、湿気の多い場所で充電器を使用する場合は、漏電遮断器（RCD）を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
8. 充電器を清潔に保ってください。
 - ◆ 充電器が汚れていると、短絡の原因になります。
9. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
10. “電圧18V” “容量1.5Ah以上” の専用ボッシュDIYガーデンツール用リチウムイオンバッテリー以外を充電しないでください。
 - ◆ それ以外のバッテリーを充電すると、発煙・発火・事故の原因になります。
11. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ◆ 爆発や火災の恐れがあります。
12. 充電器のバッテリー挿入部分には充電用端子があります。水や金属片などの異物を入れないでください。
13. 紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなどの上や、綿ぼこりなどほこりの多い場所では充電しないでください。
 - ◆ 火災の恐れがあります。
14. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、充電を中止してください。
 - ◆ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
15. 充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
 - ◆ 布などで覆われていると過熱して、破裂や火災の恐れがあります。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

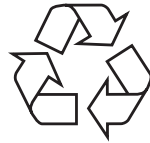
のリ
サイ
クル
に

ポツシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポツシュ電動工具取扱店、ポツシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

用 途

本製品はバッテリーにより作動し、噴射水は内蔵式水タンクに事前に給水するだけです。

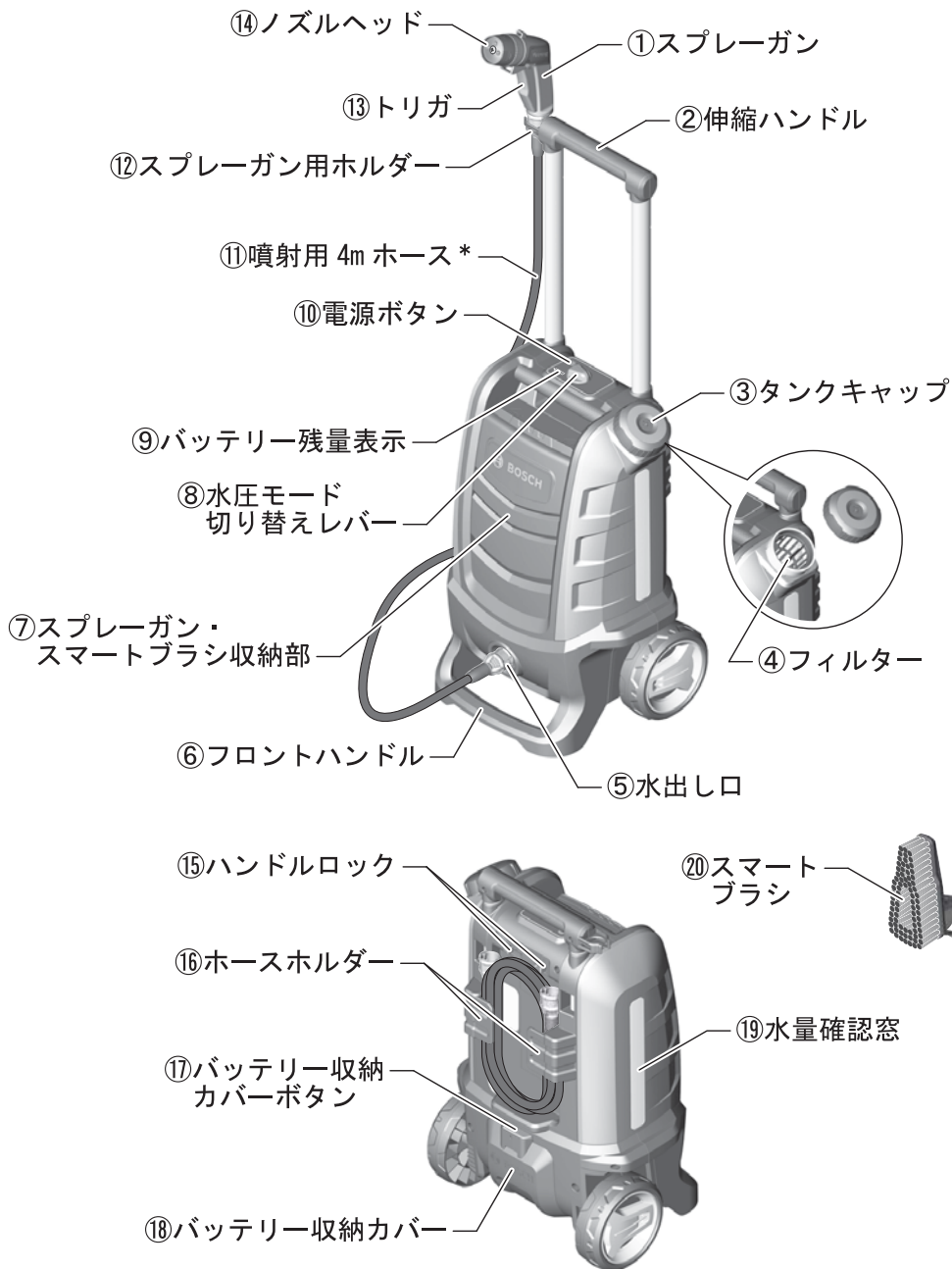
電源や水道につなぐ必要がないため、さまざまな場所で気軽に便利にご使用いただけます。

- ◆ 自転車、バイク、車などの洗浄や泥落とし
- ◆ ベランダ、窓、網戸、ガーデン用家具、ウッドデッキ、温室などの洗浄や汚れ落とし
- ◆ 屋外玩具、ベビーカーなどの洗浄や泥落とし
- ◆ キャンプなど外出先でのアウトドア用品・ブーツなどの洗浄や泥落とし
- ◆ サーフィン板、ヨットの帆・デッキなどのマリンスポーツ用品の洗浄
- ◆ お墓周りのお掃除
- ◆ お庭の植物への水まき

※ 本製品は、ご家庭での使用を想定した製品です。

つ本
製
い品
てに

各部の名称



* 噴射用 4m ホース⑪の両端には、スプレーガン①と水出し口⑤に接続するための“専用ツイストコネクターが装備されています。

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

本 体

型 番	FONTUS
定格電圧	18V
定格出力	180W
最大許容圧力（ポンプ）	1.5MPa
吐出圧力*1	1.2MPa（水圧モード強）
吐出水量*1	2.7L/min（水圧モード強）
内蔵式水タンク容量	15L
1 充電あたりの作業時間（目安）*2*3	2.5Ah バッテリー装着時
水圧モード弱	約 45 分
水圧モード中	約 30 分
水圧モード強	約 15 分
最高給水温度	50℃
充電可能温度範囲	0℃～+45℃
使用*4／保管可能温度範囲	-20℃～+50℃
感電保護クラス	III
防水等級	IPX4
質 量	9.8 kg (EPTA プロシージャ 01/2014 に準拠)

*1 選択した水圧モードにより異なります。

*2 作業環境により変わります。

*3 別途、内蔵式水タンクへの給水（水の追加）は必要です。

*4 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

使用可能ボッシュ DIY ガーデンツール用リチウムイオンバッテリー

電 圧	18V
容 量	1.5Ah 以上
充電時間（2.5Ah バッテリー）	約 60 分（空→フル充電）

使用可能ボッシュ充電器

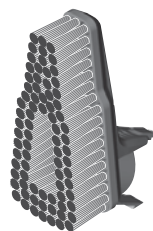
品 番	AL18..CV
-----	----------

つ本
製
い
品
てに

標準付属品



スプレーガン



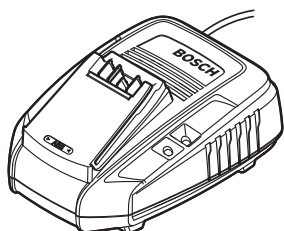
スマートブラシ



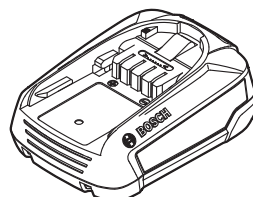
噴射用 4m ホース



フィルター（本体装着済み）



充電器*
(AL1830CV)



リチウムイオンバッテリー*
(A1825LIG)

*FONTUS の本体のみ販売仕様には付属していません。

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

本
製
品
に
つ
て

使い方

バッテリーを準備する

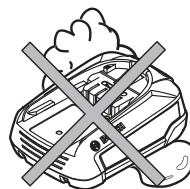


警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「電源ボタン⑩」を押さないように注意してください。

● バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



● バッテリーを充電する

充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

☞ リチウムイオンバッテリーは、バッテリーの寿命を縮めることなく、いつでも充電が可能です。充電を途中でやめてもバッテリーを傷めることはありません。



危険

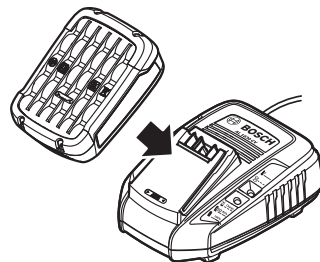
◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリーを充電してください。






警告

- ◆ バッテリーが熱くなっているときは、冷めてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。
- ◆ 電源に 100V が確実に供給されていることを確認してください。特に、延長ケーブルを使用するときは必ず事前に確認してください。
- ◆ バッテリー挿入口に異物が入らないよう注意してください。ショートの原因になります。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込み、表示ランプ（緑）の点灯を確認します。
2. 充電するバッテリーを充電器のバッテリー挿入口に差し込みます。




 **Charge** 急速充電が開始され、表示ランプ（緑）が早く点滅します。
 バッテリーは、確実に充電器に差し込まれていないと充電されません。
表示ランプ（緑）が点滅していることを、必ず確認してください。

 **GO 80%** バッテリー容量の80%まで充電されると、表示ランプ（緑）が遅い点滅に変わります。80%充電が完了した時点で使用することができます。

 **100%** 充電が完了すると、表示ランプ（緑）は点灯状態に戻ります。

3. 充電が完了したら、バッテリーをバッテリー挿入口から抜き取ります。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。

 バッテリーが熱くなりすぎたり、逆に冷えすぎている場合、表示ランプ（赤）が点灯したままになり、充電を開始しません。バッテリーが適正温度（0～45℃）になった時点で、充電器は自動的に充電を開始します。
ただし、熱くなりすぎたバッテリーは、できるだけ冷めてから充電を行うようにしてください。

ランプ表示と意味

充電の過程と充電状態を表示ランプの緑と赤で表示します。

表示ランプ緑の連続点灯



充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んだ状態です。
(バッテリーは挿入していない)

表示ランプ緑の早い点滅



挿入されたバッテリーに急速充電を行っています。
急速充電は、バッテリー温度が0～45℃のとき可能です。

表示ランプ緑の遅い点滅



挿入されたバッテリーが80%まで充電されました。
バッテリーの使用が可能です。

表示ランプ緑の連続点灯



挿入されたバッテリーの急速充電が完了した、または挿入されたバッテリーが、フル充電状態です。

表示ランプ赤の連続点灯



警告！ 挿入されたバッテリーが熱くなりすぎ、または冷えすぎています。

バッテリーが適正温度に達した時点で自動的に急速充電を開始します。

表示ランプ赤の点滅



警告！ 挿入されたバッテリーの不良、または接点不良。充電不可能。

- ☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリーの寿命が尽きたと考えられます。新しいバッテリーと交換してください。
- ☞ バッテリーは出荷時に多少充電されていますが、初めて使用される場合は、充電器でバッテリーをフル充電し、完全に充電されたことを確認してください。
- ☞ 本機には、電子セル保護システム（ECP機能）がついております。コードレス洗淨機本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。
- ☞ 電子セル保護システム（ECP機能）が作動して、コードレス洗淨機本体が自動的に停止している状態で「電源ボタン⑩」を押し続けしないでください。

● バッテリーを取り付ける・取り外す

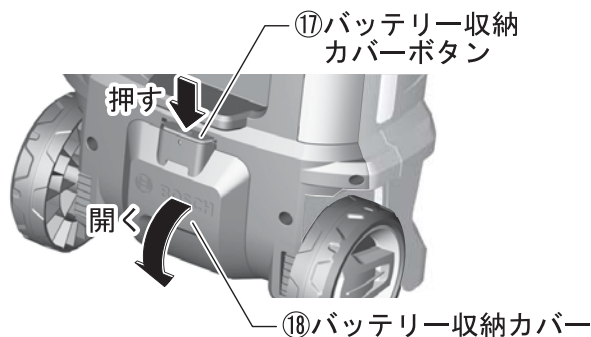


警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「電源ボタン⑩」を押しないように注意してください。

取り付け

1. 「バッテリー収納カバーボタン⑰」を押しながら、バッテリー収納カバー⑱を開きます。

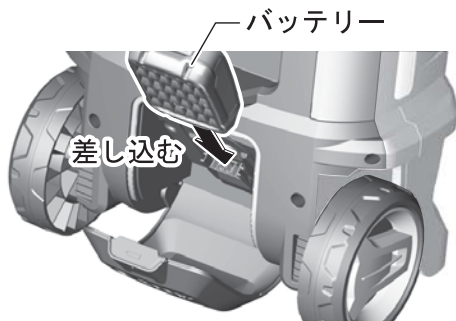


2. バッテリーのツメを、コードレス洗淨機本体のバッテリー取り付け部の溝に合わせ、矢印の方向に差し込みます。
“カチッ”と音がするまで押し込んでください。

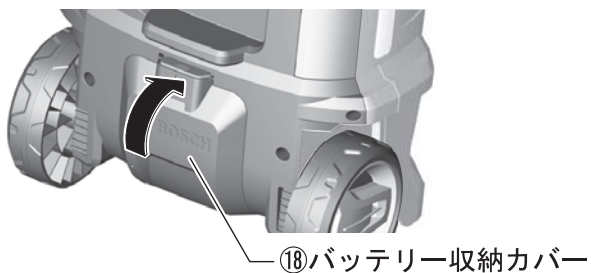


注意

- ◆ バッテリーを軽く引いて、確実に取り付けられているか確認してください。

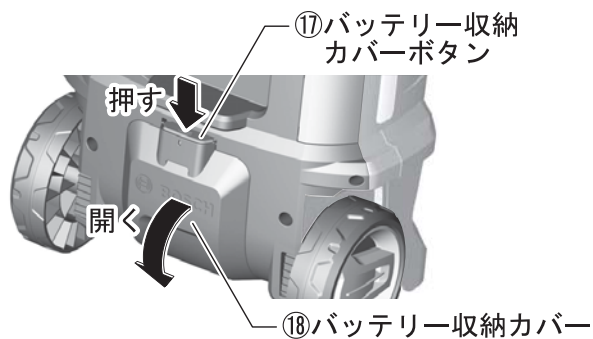


3. バッテリー収納カバー⑱を閉じます。
“カチッ”と音がして、確実に閉まったことを確認してください。

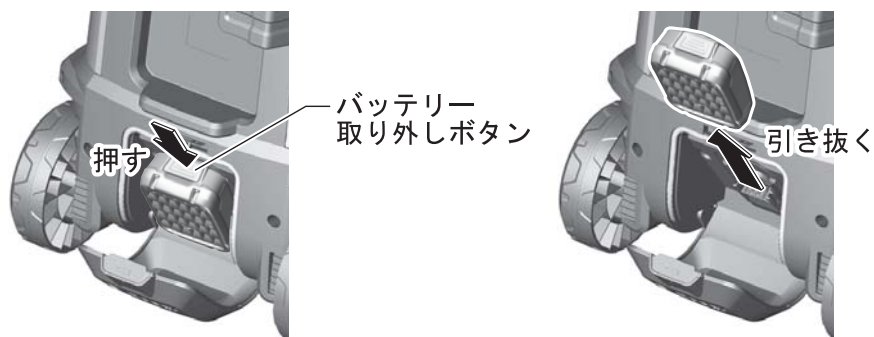


取り外し

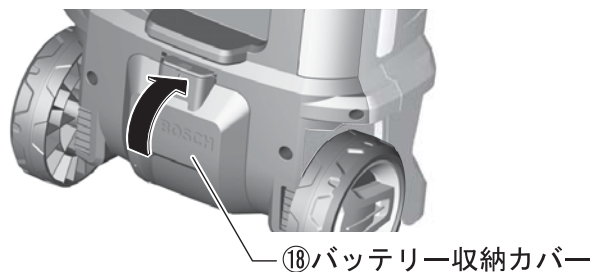
1. 「バッテリー収納カバーボタン⑰」を押しながら、バッテリー収納カバー⑱を開きます。



2. 「バッテリー取り外しボタン」を押しながら、バッテリーをコードレス洗浄機本体から引き抜きます。



3. バッテリー収納カバー⑱を閉じます。
“カチッ”と音がして、確実に閉まったことを確認してください。



作業前の準備をする



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときはバッテリーをコードレス洗浄機本体から取り外してください。

● 伸縮ハンドルを引き出す／収納する



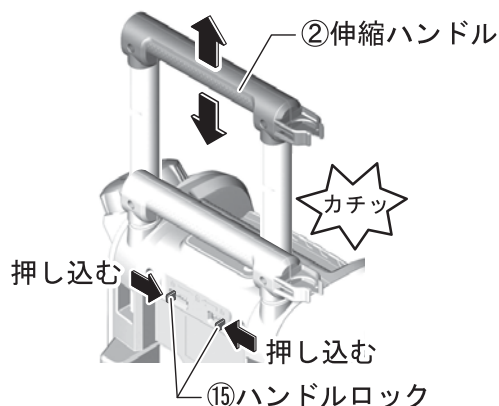
使
い
方

ハンドルロック⑮を内側に押し込みながら、伸縮ハンドル②を引き出したり、収納したりします。



注意

- ◆ “カチッ”と音がして、確実に固定されていることを確認してください。



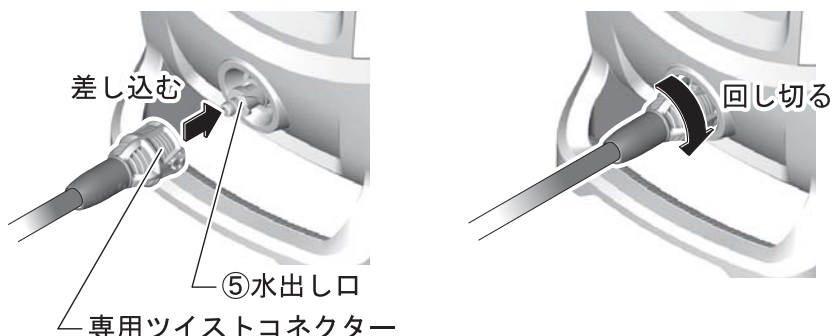
● 噴射用 4m ホースを取り付ける・取り外す

取り付け

1. “専用ツイストコネクター”の一方を、本体の水出し口⑤に取り付けます。

1) “専用ツイストコネクター”の突起を水出し口⑤の溝に合わせて差し込み、矢印の方向に回す。

☞ “専用ツイストコネクター”は最後まで回し切って、確実に取り付けてください。

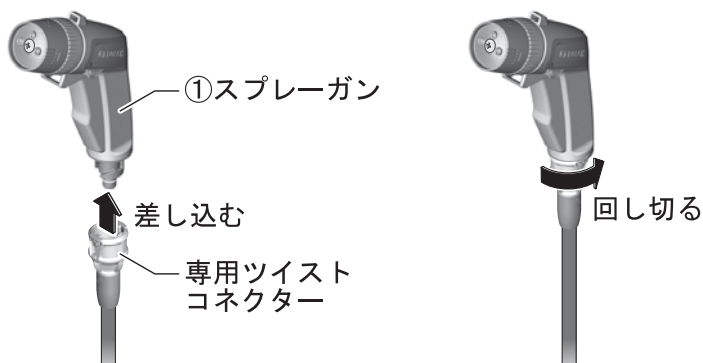


2) “専用ツイストコネクター”を軽く引いて、抜けないことを確認する。

2. “専用ツイストコネクター”のもう一方を、スプレーガン①に取り付けます。

1) “専用ツイストコネクター”の突起をスプレーガン①の溝に合わせて差し込み、矢印の方向に回す。

☞ “専用ツイストコネクター”は最後まで回し切って、確実に取り付けてください。



2) “専用ツイストコネクター”を軽く引いて、抜けないことを確認する。

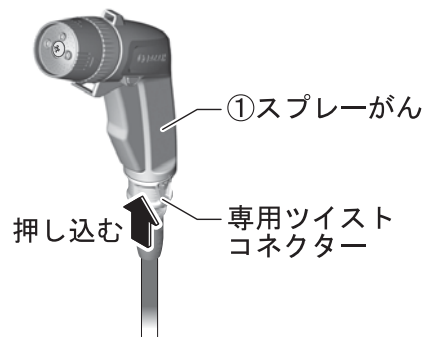
取り外し



注意

- ◆ 噴射用 4m ホース⑪内に水が残っていることがあります。
噴射用 4m ホース⑪を取り外すときは、ホース内に残った水が自分や周りの人、機械などに掛からないよう注意してください。

1. 使用後に取り外すときは、下記を行います。
 - 1) 電源が切れていることを確認する。
電源が入っているときは、「電源ボタン⑩」を押して電源を切ります。
 - 2) スプレーガン①のトリガ⑬を引き込んで、ホース内の圧力と水を抜く。
2. スプレーガン①から“専用ツイストコネクター”を取り外します。
 - 1) “専用ツイストコネクター”をスプレーガン①側に押し込む。



- 2) “専用ツイストコネクター”を矢印の方向に回しながら引き抜く。



使
い
方

3. 本体の水出し口⑤から“専用ツイストコネクター”を取り外します。

- 1) “専用ツイストコネクター”を、水出し口⑤側に押し込む。

専用ツイストコネクター

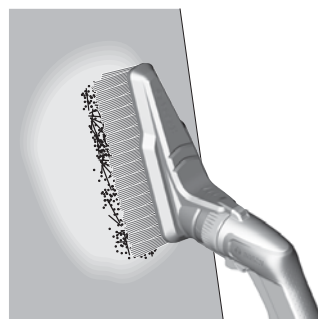
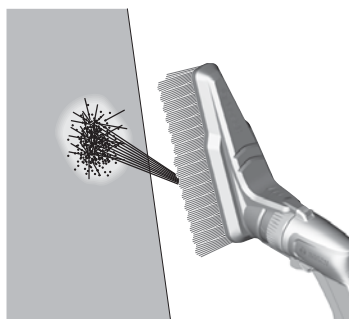


- 2) “専用ツイストコネクター”を矢印の方向に回しながら引き抜く。



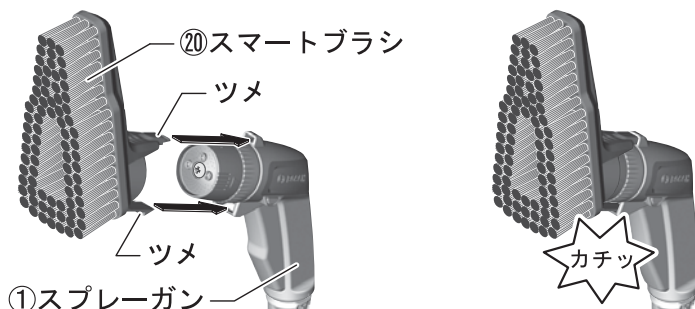
● スマートブラシを取り付ける・取り外す

スプレーガン①にスマートブラシ⑳を取り付けると、より効果的に汚れを落とすことができます。



取り付け

1. スプレーガン①のスマートブラシ取り付け部に、スマートブラシ⑳のツメを差し込みます。“カチッ”と音がするまで押し込んでください。

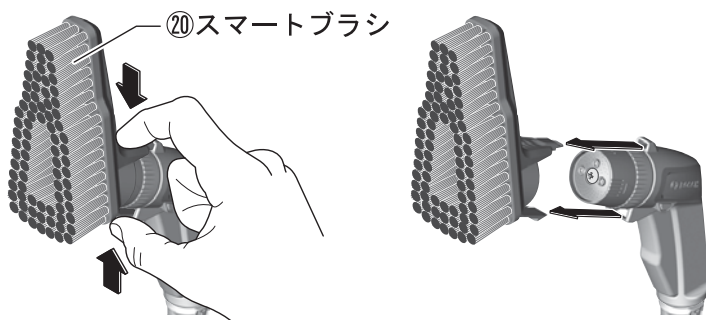


- ☞ スマートブラシ⑳は、イラストの向きで取り付けてください。スマートブラシ⑳のツメはサイズに違いがあります。イラストの向きでないと取り付けられません。

2. スマートブラシ⑳を軽く引いて、抜けないことを確認します。

取り外し

1. 電源が切れていることを確認します。
電源が入っているときは、「電源ボタン⑩」を押して電源を切ってください。
☞ 電源が入っていると、誤ってトリガ⑬を押してしまったとき、水を噴射する恐れがあります。
2. スマートブラシ⑳のツメを内側に押し込み、スプレーガン①から引き抜きます。

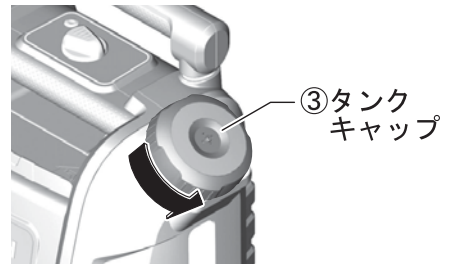


● 給水する

⚠ 注意

- ◆ フィルターを取り外した状態、またはフィルターが損傷している状態で、内蔵式水タンクに給水しないでください。
- ◆ 内蔵式水タンクには、新鮮な水（生理食塩水でない）以外を給水しないでください。
- ◆ 内蔵式水タンクに水が入ると、コードレス洗浄機本体は重くなります。
コードレス洗浄機本体を移送させるときは、注意してください。

1. タンクキャップ③を矢印の方向に回して取り外します。



2. 損傷していないフィルター④が取り付けられているか確認します。フィルター④が取り付けられていないときは、取り付けてください。また、フィルター④が損傷しているときは、交換してください。

3. 内蔵式水タンクに新鮮な水を給水します。

タンク容量：15L

- ☞ 内蔵式水タンク内の水量は、コードレス洗浄機本体の左右にある水量確認窓⑱で確認することができます。



4. タンクキャップ③を取り付け、矢印の方向に回して締めます。
タンクキャップ③は確実に締めてください。



作業する



警告

- ◆ 噴射口を人や動物の顔に向けないでください。
- ◆ 水流で物の破片が飛んだときなどにけがをしないよう、作業に適した服装で作業してください。また、目を保護するため保護めがねなどを着用してください。
- ◆ 動物の汚れを落とすときは、噴射モードや水圧の選択に注意してください。



注意

- ◆ 作業を一時中断するときは、必ず電源を切ってください。切らないと、モーターが自動で再始動することがあります。
- ◆ 噴射用 4m ホース⑪は、巻いたまま使用しないでください。必ず伸ばして使用してください。
- ◆ 内蔵式水タンクに水がなくなったときは、直ちに電源を切ってください。
- ◆ 内蔵式水タンクが空の状態では始動しないでください。ポンプやモーターが破損します。
- ◆ 噴射用 4m ホース⑪を張りすぎたり、噴射用 4m ホース⑪を引っ張って本体を移動させたりしないでください。本体が倒れる恐れがあります。
- ◆ 噴射用 4m ホース⑪を折り曲げたり、車で踏んだりしないでください。また、鋭利な角などに当たらないようにしてください。
- ◆ 内蔵式水タンクに水が入っていると、コードレス洗浄機は重くなります。斜面やステップ上を移動するときは、注意してください。

1 噴射用 4m ホースが確実に取り付けられているか確認する

噴射用 4m ホース⑪が取り付けられていないときは、取り付けてください。

(噴射用 4m ホース⑪の取り付けは、30 ページ「噴射用 4m ホースを取り付ける・取り外す」参照)

2 内蔵式水タンクに、給水されていることを確認する。



注意

- ◆ 内蔵式水タンクが空の状態では電源を入ると、故障の原因になります。
- ◆ 内蔵式水タンクの水量は水量確認窓⑱で確認できます。

3 本体にバッテリーを取り付ける




警告

- ◆ 「電源ボタン⑩」を押さないように注意してください。

バッテリーを、本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。

(26 ページ「バッテリーを取り付ける・取り外す」参照)

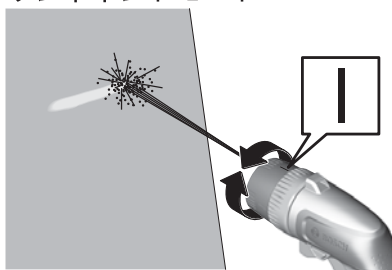
 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

4 噴射モードを選択する

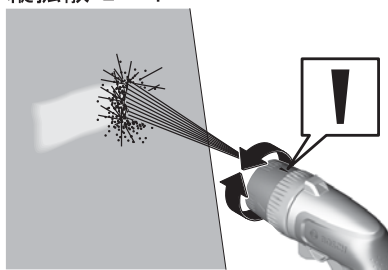
噴射モードは、ワンポイントモード(| 一点集中)、縦拡散モード(▼ 狭角)、横拡散モード(▼ 広角)、シャワーモード(●●●●)の4種類から選択することができます。

ノズルヘッド⑭を回して、噴射モードを選択します。

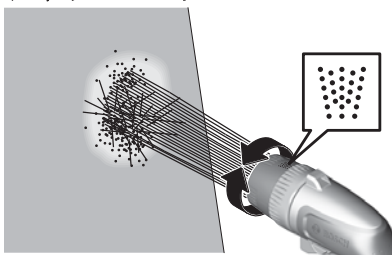
ワンポイントモード



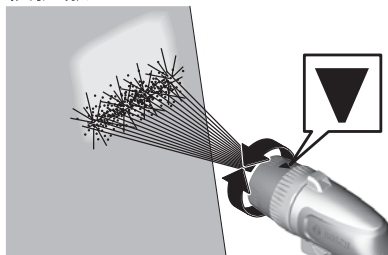
縦拡散モード



シャワーモード



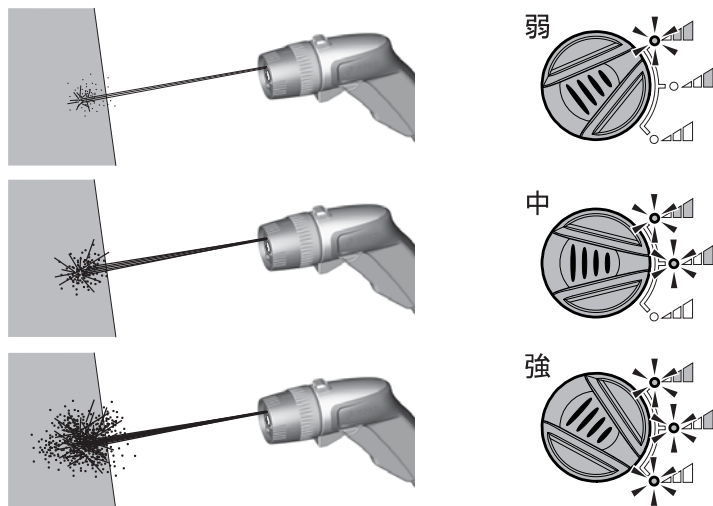
横拡散モード



5 水圧を選択する

水圧は、“弱” “中” “強” の3モードから選択することができます。水圧モード切り替えレバー⑧を回して、水圧を選択します。

☞ 水圧は“弱”で試してから順に強い圧力にすることをお勧めします。



☞ 電源を入れないと表示灯は点灯しません。

使
い
方

6 電源を入れる

警告 ◆ スプレーガン①のトリガ⑬が引き込まれていないことを確認してから、電源を入れてください。

「電源ボタン⑩」を押して、電源を入れます。

電源が入ると、バッテリー残量表示⑨が点灯します。

また、電源が入ると、ポンプモーターが作動し、約 10 秒間モーター音がします。モーター音が止まったら準備完了です。



☞ 5分間操作しないと、自動的に電源が切れます。

☞ 内蔵式水タンクが空の状態でもポンプが 20 秒以上作動すると、モーターは停止します（ドライランニング保護機能）。内蔵式水タンクが空になったときは、一度電源を切って内蔵式水タンクに給水し、電源を入れ直してください。

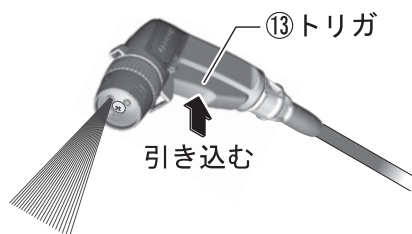
7 噴射口を下に向けてトリガを引き込む



警告

- ◆ スプレーガン①をしっかり持ってトリガー⑬を引き込んでください。
- ◆ 周りに人や動物がいないこと、機械などがいないことを確認してから噴射してください。

水圧が安定するまで（目安として約 10～20 秒）噴射口を下に向けて噴射します。



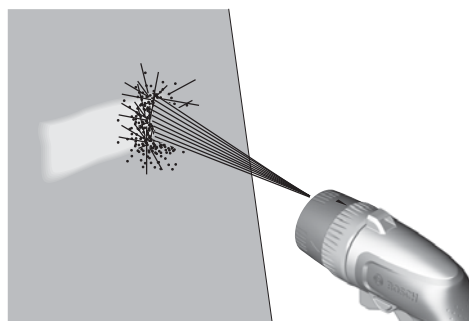
☞ 内蔵式水タンクを空にした後、給水して初めて使用する場合、水が出るまでには最大 10 秒かかることがあります。

8 対象物に噴射口を向けて洗浄する



警告

- ◆ 対象物に適した距離で洗浄してください。また、対象物に損傷が生じる恐れがある場合は、目立たない場所で試してから洗浄してください。
- ◆ 最初はノズルヘッド⑭からの距離を離して洗浄し、様子を見ながら近づけて洗浄するなど慎重に作業してください。近づけすぎた場合、破損などの原因になります。



使
い
方

トリガ⑬をいっぱい引き込んだ状態で「ロックスイッチ」を左に押し込むと、トリガ⑬が引き込まれた状態でロックされます。



ロックを解除するときは、トリガ⑬を引き込み直して保持し、「ロックスイッチ」を右に押し込みます。



9 洗浄を終了する

トリガ⑬を離すとモーターが直ちに停止し、噴射が止まります。再度レバーを引き込むと再始動します。

10 電源を切る

「電源ボタン⑩」を押して、電源を切ります。

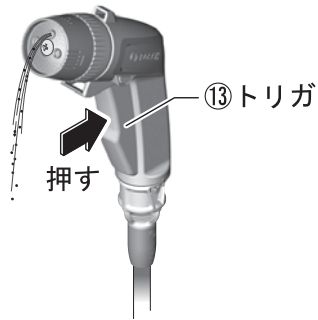


11 トリガを引き込む

トリガ⑬を引き込み、圧力と水を抜きます。

噴射口から水が出なくなるまでトリガ⑬を引き込み続けてください。

水が出なくなったら、トリガ⑬を放します。



12 噴射用 4m ホースをコードレス洗浄機本体から取り外す

(30 ページ「噴射用 4m ホースを取り付ける・取り外す」参照)

お手入れと保管



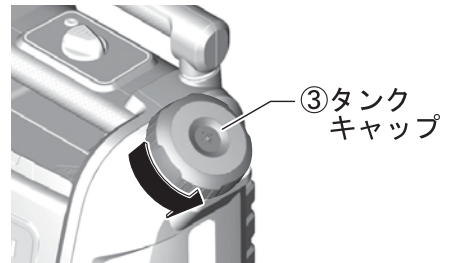
警告

- ◆ お手入れするときや保管するときは、バッテリーをコードレス洗淨機本体から取り外してください。

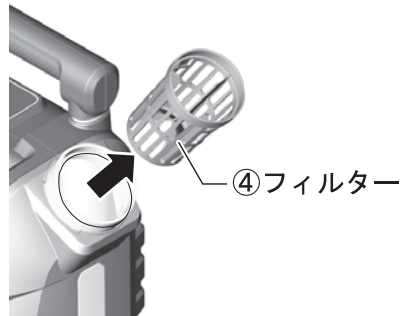
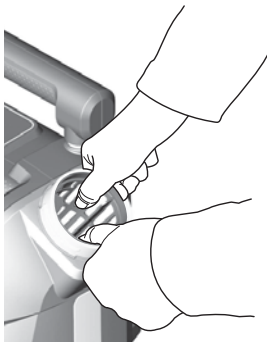
フィルターの清掃

フィルター④の清掃は、作業終了後に毎回行ってください。
洗っても汚れが落ちないときは、新品と交換してください。

1. タンクキャップ③を矢印の方向に回して取り外します。



2. フィルター④を取り外します。
フィルター④の中に左右の親指を入れ、フィルター④を外側に押し付けるようにして少し回しながら引き上げると、取り外せます。



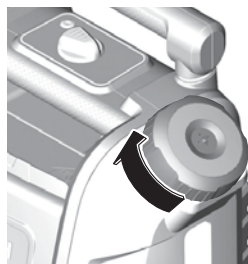
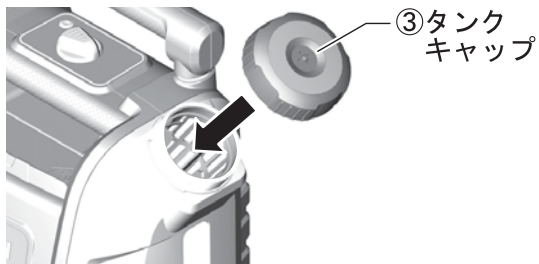
3. 取り外したフィルター④を、流水で洗います。



4. 清掃したフィルター④を内蔵式水タンクの給水口に取り付けます。フィルター④は奥まで押し込んでください。



5. タンクキャップ③を取り付け、矢印の方向に回して締めます。タンクキャップ③は確実に締めてください。



保
お
手
入
れ
と
管

運 搬



警告

◆ 内蔵式水タンクに水が入っていると、コードレス洗浄機は重くなります。

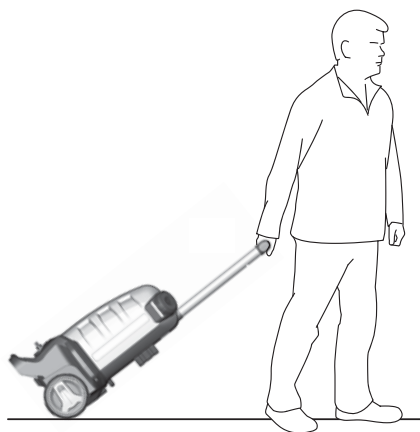
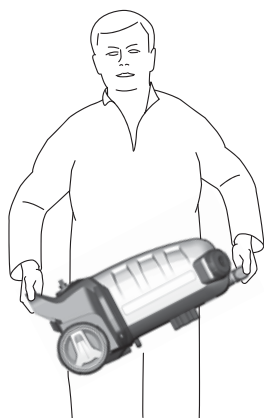
斜面やステップ上を移動するときは、注意してください。

コードレス洗浄機を移動させるときは、下記を確認してから運搬してください。

- ・伸縮ハンドル②が確実にロックされているか
- ・電源が切れているか

 特に水タンクが満杯のときは注意が必要です。

コードレス洗浄機本体を持ち上げて移動するときには、伸縮ハンドル②とフロントハンドル⑥を持って持ち上げます。持ち上げるとき、姿勢に注意してください。

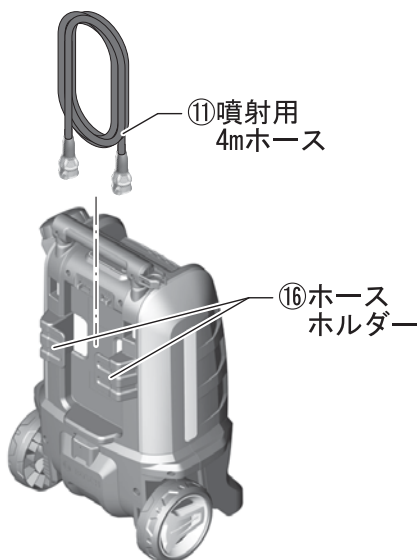


保
お
手
入
れ
と
管

● 噴射用 4m ホースの収納

噴射用 4m ホース⑪は束ねて、ホースホルダー⑫に収納してください。

- ☞ 噴射用 4m ホース⑪を束ねるとき、無理に折り曲げたりしないでください。
ホースが破損する原因になります。
- ☞ 専用ツイストコネクターからゴミなどが入らないよう、専用ツイストコネクターを下向きにして収納することをお勧めします。

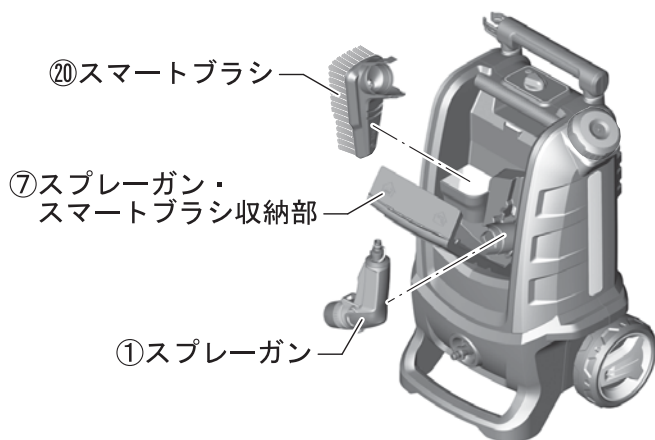


● スプレーガン・スマートブラシの収納

スプレーガン①とスマートブラシ⑳はスプレーガン・スマートブラシ収納部⑦に収納してください。

スプレーガン・スマートブラシ収納部⑦を開いて、スプレーガン①とスマートブラシ⑳を収納します。

- ☞ スプレーガン①は、トリガ⑬を引き込みながら収納部にセットしてください。



長期間使用しないとき、または冬季の保管

- 注意** ◆ 本体や付属品は、ホコリのかぶらない、凍結しない室内に保管してください。

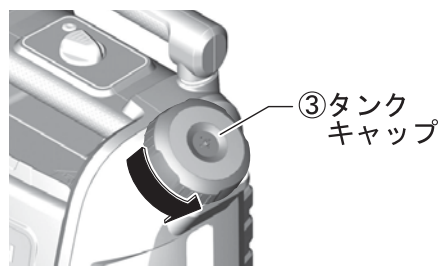
5℃以下にならない場所に保管することをお奨めします。

1. 伸縮ハンドル②を収納します。
(29 ページ「伸縮ハンドルを引き出す／収納する」参照)
2. 噴射用 4m ホース①を取り外します。
(30 ページ「噴射用 4m ホースを取り付ける・取り外す」参照)

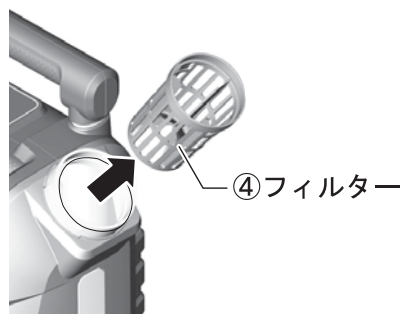
- 注意** ◆ 保管するときは、ホースをコードレス洗浄機本体から必ず取り外してください。

3. 内蔵式水タンク内の水を完全に排出します。

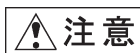
- 1) タンクキャップ③を取り外す。



- 2) フィルター④を取り外す。
(42 ページ「フィルターの清掃」参照)



- 3) 内蔵式水タンクの給水口を下に傾けて、内蔵式水タンク内に残った水を排出する。



注意

◆ 排水が不完全な場合は、ポンプが凍結し破損します。凍結した状態でスイッチを入れると、モーターが破損します。

4. フィルター④を流水で洗います。



5. コードレス洗浄機本体や噴射用 4m ホース⑩などの水気、汚れを乾いた軟らかい布で拭き取ります。
6. 内蔵式水タンク内とフィルター④をよく乾燥させます。直射日光の当たらない、風通しのよい場所で乾燥させてください。



注意

◆ よく乾燥させないで保管すると、カビやコケが生えたりすることがあります。

7. 清掃し、よく乾燥させたフィルター④を内蔵式水タンクの給水口に取り付けます。



保
お
手
入
れ
と
管

8. タンクキャップ③を取り付け、矢印の方向に回して締めます。
タンクキャップ③は確実に締めてください。



9. 5℃以下にならない、ホコリのかぶらない室内に保管します。

注意

- ◆ 排水が不完全な場合は、ポンプが凍結し破損します。
凍結した状態で電源を入れると、モーターが破損します。
- ◆ 保管するときは、噴射用 4m ホース⑪を本体から取り外してください。
- ◆ ホコリのある場所に保管する場合は、水出し口⑤にホコリや細かいごみが入らないように保護してください。
- ◆ ポンプ内にごみが混入した場合、本体が正常に作動しなくなります。
- ◆ 噴射用 4m ホース⑪内に水が残っていることがあります。
噴射用 4m ホース⑪を取り外すときは、ホース内に残った水が自分や周りの人、機械などに掛からないよう注意してください。

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

本 体

症 状	原 因	対 処
モーターから音はするが始動しない	長期間使用していなかった	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
	本体内のシステムに異常がある	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
	内蔵式水タンクが空になっている	内蔵式水タンクに給水する
トリガ⑬を引いても作動しない	バッテリーが消耗している（電子セル保護システムが作動した）	バッテリーを充電するか交換する
	バッテリーの温度が熱すぎる/冷たすぎる	バッテリーが適正温度（0～45℃）になるのを待つ
	凍結している	ポンプ、ホース、ノズルなどが解凍するのを待つ
水が出ない	内蔵式水タンクが空になっている	内蔵式水タンクに給水する
	ノズルが詰まっている	ノズルを清掃する
圧力が安定しない	ポンプに空気が入っている	噴射モードを“シャワーモード”、水圧を“強”に設定し、空気が抜けるまでトリガ⑬を引き込み続ける
	ノズルが詰まっている	ノズルを清掃する
	ポンプやスプレーガンから水漏れしている	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する

症 状	原 因	対 処
本体から水漏れする	ポンプから水漏れしている	数滴の水漏れであれば問題ありません。 多量に漏れる場合はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
	噴射用 4mホース⑩の専用ツイストコネクターが正しく接続されていない	専用ツイストコネクターを確実に接続する
	タンクキャップ③が緩んでいる	タンクキャップ③を締め付ける
電源は入っている（バッテリー残量表示は点灯している）が、ポンプが動作しない	内蔵式水タンクが空になっている（ドライランニング保護機能が作動した）	一度電源を切って内蔵式水タンクに給水し、再度電源を入れる
トリガ⑬を引き込んでいないのに、モーターが作動する	ポンプ、スプレーガン①または噴射用 4mホース⑩の水漏れ	継続的に症状が発生する場合は、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
噴射用 4mホース⑩を取り外せない	電源が入っているため、専用ツイストコネクターに圧力が掛かっている	電源を切ってから噴射用 4mホースを取り外す
	噴射用 4mホース⑩内に空気が入っている	トリガ⑬を引き込んで空気を抜く

充電器

症 状	原 因	対 処
バッテリーを挿入しても充電器の表示ランプ（緑）が点灯しない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに確実に差し込む
	電源コンセントが損傷している	電源コンセントを修理する
	電源ケーブルまたは充電器が損傷している	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
	電源電圧が仕様と合っていない	仕様に合った電源電圧で使用する
表示ランプ（赤）が点滅する	バッテリーが正しく挿入されていない	バッテリーを正しく挿入する
	バッテリー挿入口が汚れている	バッテリー挿入口の汚れを取り除く
	バッテリー自体の寿命がきている	バッテリーを交換する

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール  0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407